


県政調査計画書

平成 26 年 4 月 11 日

県議会議長 古沢 時衛 殿

会派名 公明党神奈川県議会議員団

団長名 鈴木 ひで 

(署名又は記名押印)

県政調査を次のとおり計画しましたので、よろしくお取り計らいください。

1 調査議員	(調査団長) 小野寺 慎一郎 (団 員) 高橋 稔 佐々木 正行 亀井 たかつぐ
2 調査目的	優れた独自技術を介護・医療分野に活かしている企業やその実証実験施設において先駆的な取組を調査することにより、本県におけるさがみロボット産業特区の推進に資する。
3 調査期間	平成 26 年 5 月 12 日～平成 26 年 5 月 14 日
4 調査地	大阪府・愛知県
5 調査項目	<p>(1) 株式会社レイトロン 大規模集積回路 (LSI) ・システム開発を主力事業とする株式会社レイトロンは、音声認識技術を使って、高齢者が音声で家電の操作ができるコミュニケーションロボット「Chapit」を開発している。 こうした優れた技術や他分野である介護事業への参入に至った経緯等について調査することにより、県民生活の質の向上や地域経済の活性化等を目指すさがみロボット産業特区の推進の参考とする。</p> <p>(2) オリックス・リビング イノベーションセンター オリックス・リビング株式会社は、介護現場のニーズとシーズをマッチングさせる研究・開発・創造拠点であ</p>



る「オリックス・リビング イノベーションセンター」を2013年8月に開設した。

当センターの運営に関する課題や問題点等を含め最先端の介護機器や研究について調査することにより、県民生活の質の向上や地域経済の活性化等を目指すさがみロボット産業特区の推進の参考とする。

(3) マッスル株式会社

FA機器等の制御システムを主力事業とするマッスル株式会社は、介護者の負担を軽減する移乗システム「ロボヘルパー・サスケ」や自動排泄処理装置「ロボヘルパー・ラブ」を開発している。

こうした優れた技術や他分野である介護事業への参入に至った経緯等について調査することにより、県民生活の質の向上や地域経済の活性化等を目指すさがみロボット産業特区の推進の参考とする。

(4) 株式会社スミロン

自動車や液晶部材向けの保護フィルムを製造する株式会社スミロンは、使用済みのおむつを特殊なテープで密封しにおい漏れを防ぐ装置「エコムシュウ」を開発・製造している。

こうした優れた技術や他分野である介護事業への参入に至った経緯等について調査することにより、県民生活の質の向上や地域経済の活性化等を目指すさがみロボット産業特区の推進の参考とする。

(5) トヨタ自動車株式会社

自動車づくりで培ったモーター制御の技術を応用し、介護・医療支援向けパートナーロボットを藤田保健衛生大学と共同で開発している。

こうした優れた技術や他分野である介護・医療事業への参入に至った経緯等について調査することにより、県民生活の質の向上や地域経済の活性化等を目指すさがみロボット産業特区の推進の参考とする。

	<p>る「オリックス・リビング イノベーションセンター」を2013年8月に開設した。</p> <p>当センターの運営に関する課題や問題点等を含め最先端の介護機器や研究について調査することにより、県民生活の質の向上や地域経済の活性化等を目指すさがみロボット産業特区の推進の参考とする。</p> <p>(3) マッスル株式会社</p> <p>FA機器等の制御システムを主力事業とするマッスル株式会社は、介護者の負担を軽減する移乗システム「ロボヘルパー・サスケ」や自動排泄処理装置「ロボヘルパー・ラブ」を開発している。</p> <p>こうした優れた技術や他分野である介護事業への参入に至った経緯等について調査することにより、県民生活の質の向上や地域経済の活性化等を目指すさがみロボット産業特区の推進の参考とする。</p> <p>(4) 株式会社スミロン</p> <p>自動車や液晶部材向けの保護フィルムを製造する株式会社スミロンは、使用済みのおむつを特殊なテープで密封しにおい漏れを防ぐ装置「エコムシュウ」を開発・製造している。</p> <p>こうした優れた技術や他分野である介護事業への参入に至った経緯等について調査することにより、県民生活の質の向上や地域経済の活性化等を目指すさがみロボット産業特区の推進の参考とする。</p> <p>(5) トヨタ自動車株式会社</p> <p>自動車づくりで培ったモーター制御の技術を応用し、介護・医療支援向けパートナーロボットを藤田保健衛生大学と共同で開発している。</p> <p>こうした優れた技術や他分野である介護・医療事業への参入に至った経緯等について調査することにより、県民生活の質の向上や地域経済の活性化等を目指すさがみロボット産業特区の推進の参考とする。</p>								
<p>6 経費の概算額</p>	<table> <tr> <td>一人当たりの議員旅費……………</td> <td>69,600円</td> </tr> <tr> <td>    内訳 交通費</td> <td>33,000円</td> </tr> <tr> <td>          宿泊費</td> <td>33,000円</td> </tr> <tr> <td>          日 当</td> <td>3,600円</td> </tr> </table>	一人当たりの議員旅費……………	69,600円	内訳 交通費	33,000円	宿泊費	33,000円	日 当	3,600円
一人当たりの議員旅費……………	69,600円								
内訳 交通費	33,000円								
宿泊費	33,000円								
日 当	3,600円								

\* 日程表を添付する。

## 県政調査日程表

日	月日(曜)	調査地	現地時間	交通機関 (所要時間)	調査箇所及び調査内容
1	5月12日 (月)	大阪府  大阪市	午前  午後	新幹線  公共交通機関等  公共交通機関等	移動(新横浜～新大阪)  ●視察1 株式会社レイトロン ・ 独自技術を介護分野に活かす取組について  ●視察2 オリックス・リビング イノベーションセンター ・ 介護ロボットの実証実験状況について  ＜大阪市内泊＞
2	5月13日 (火)	大阪市  愛知県	午前  午後	公共交通機関等  公共交通機関等  新幹線	●視察3 マッスル株式会社 ・ 独自技術を介護分野に活かす取組について  ●視察4 株式会社スミロン ・ 独自技術を介護分野に活かす取組について  移動(新大阪～名古屋)  ＜豊田市内泊＞
3	5月14日 (水)	豊田市	午前	公共交通機関等  新幹線	●視察5 トヨタ自動車株式会社 ・ 介護・医療支援向けパートナーロボットについて  移動(名古屋～新横浜)

## 県政調査計画審査結果

県政調査計画について審査したところ、結果は次のとおりでした。

調査実施議員名	(調査団長) 小野寺 慎一郎 (団 員) 高橋 稔 佐々木 正行 亀井 たかつぐ
---------	--

## 1 要領2(1)の基準への適否

区 分	調査の基準	計画の内容	適否
① 調査経費	議員1人当たり100万円以内	議員1人当たりの経費は69,600円であり、基準を満たしている。	適
② 調査箇所	1日につき午前及び午後それぞれ1箇所以上調査実施 移動日は1箇所以上調査実施	移動日について1箇所以上、それ以外の日について午前及び午後それぞれ1箇所以上調査を実施する行程となっている。	適

## 2 調査計画に対する審査所見

区 分	所 見
① 調査の実施が県政課題解決の一助となるか。	<p>少子高齢化が進む中で、介護・医療ロボットは高齢者等の生活環境の改善や介護・医療従事者の負担軽減が期待されている。</p> <p>優れた独自技術を介護・医療分野に活かしている企業等の取組を調査することは、生活支援ロボットの実用化・普及の促進や関連企業の集積を進めている本県のさがみロボット産業特区を推進していく上で、大いに参考となるものであり、県政課題解決の一助となるものと認められる。</p>
② 調査の実施時期が時宜を得たものか。	<p>さがみロボット産業特区の推進を通じた県民生活の質の向上や地域経済の活性化等は、本県の喫緊の課題であり、速やかに施策に取り組む必要があることから、今回の調査実施は時宜を得たものであると認められる。</p>
③ 現地に赴かなければ調査目的が達成できないものか。	<p>今後の本県における施策の取組に活かしていくためには、現地に赴き現場職員から事業内容やその成果について具体的、詳細に調査及び聴取しなければ調査目的が達成できないものである。</p>
④ 調査箇所、行程、経費等は妥当なものか。	<p>調査箇所、行程、経費等は県政調査実施要領の基準を満たしており、妥当である。</p>